



りんくう総合医療センター 血液内科 ～血液内科って、なに？～

「血液内科」という診療科を聞きなれない人も多いでしょう。かかりつけ医の受診や健康診断では、採血し、健康状態を調べることが多くあります。その採血検査の結果で、白血球や赤血球、血小板の数に異常が見つかった場合や、貧血でふらふらする・最近血が出やすい・止まりにくい・気がつかないうちにリンパ腺が大きくなってきたなどの症状が現れた場合に、より詳しく調べる精密検査をしたり、その後の治療を担当したりするのが「血液内科」です。

血液内科が主に扱う病気は「急性・慢性白血病」「多発性骨髄腫」「骨髄異形成症候群」「再生不良性貧血」「自己免疫性溶血性貧血」「特発性血小板減少性紫斑病」など血液を造る骨髄に発生する疾患や、リンパ節に発生する「悪性リンパ腫」などです。これらは「造血器疾患」と呼ばれ、治療に、抗がん剤やステロイド剤、免疫抑制剤、抗菌剤などを使う化学療法などが必要なうえ、これらの病気は比較的まれであるため、血液内科には高い専門性が求められます。

当院の血液内科は、日本血液学会から専門医の養成が可能な施設としての認定も受けています。造血器疾患に対しては、患者さんの理解をいただいたうえでの積極的治療や、患者さんの個別の状況に対応した治療を提供しています。さらに、現在は諸事情により休止していますが、最先端医療である「造血幹細胞移植」が施行可能な施設でもあり、無菌管理が可能な病床11床など、診療に必要な環境が十分に整備されています。

血液内科は現在、常勤医師2人、大阪大学医学部循環器内科寄附講座所属医師1人（外来のみ）、非常勤医師2人（外来のみ）で診療を行っています。造血幹細胞移植についても、環境が整い次第の再開を予定しています。

前述のような症状があるときや、血液検査で異常が見つかった場合は、忙しいからとか、面倒だからとは思わず、できるだけ早く、近くの医療機関やかかりつけ医を受診し、相談することをお勧めします。

問合先 りんくう総合医療センター 地域医療連携室（☎469-3111 Fax469-7929）
ホームページ（<http://www.rgmc.izumisano.osaka.jp/>）